

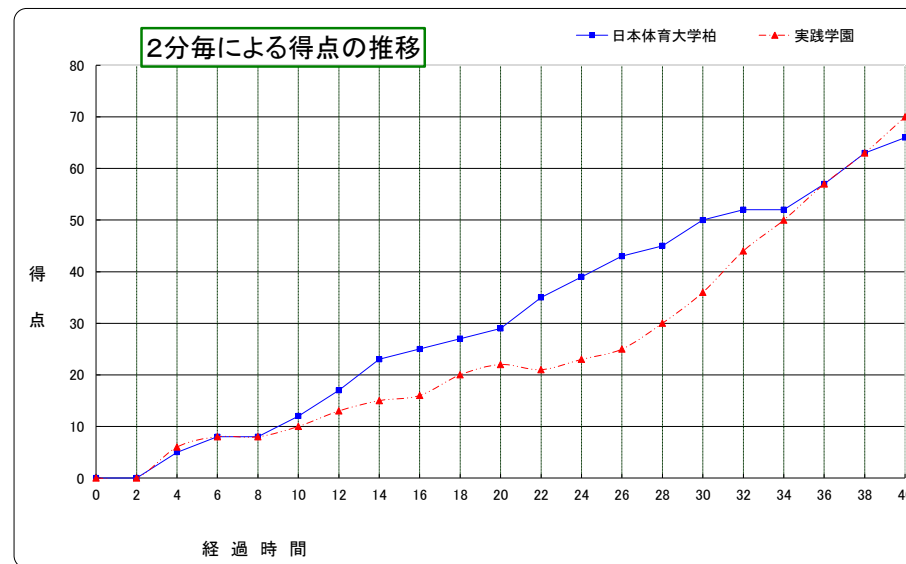
# 平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)  
春日部ウイングハット  
1回戦

チームA 日本体育大学柏 (千葉)	66	{	<table border="0"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>34</td></tr> </table>	12	1st	10	17	2nd	12	21	3rd	14	16	4th	34	}	70	チームB 実践学園 (東京)
12	1st	10																
17	2nd	12																
21	3rd	14																
16	4th	34																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	伊藤 亮啓	0													
5	長根 賢太	7	1	3	2	13	0	0	1	2	6	2	2	0	3
6	小出 柊也	5	1	4	0	4	2	2	2	0	4	1	5	1	5
7	坂田 拓真	15	1	4	6	9	0	0	4	1	8	2	2	0	3
8	望月 孔貴	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9	吉井 晴哉	0													
10	テム ヴィカセンド イヴォン	15	0	0	7	13	1	2	3	2	11	0	1	2	5
11	小川 雄士	0													
12	小市 涼太	0													
13	前田 剣佑	20	3	5	5	11	1	1	4	7	1	3	0	0	5
14	飯塚 環	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	須知 友哉	0													
16	松岡 龍平	0													
17	澤田 樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	ケイタ シェイクボーンカー	4	0	0	2	5	0	0	4	4	4	2	0	1	2
コーチ	野 澤 亨	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	確率	66	6	16	22	57	4	5	18	17	36	10	10	4	26
			37.5%		38.6%		80.0%			計	53				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	深澤 英吾	5	0	1	1	8	3	4	1	4	3	6	7	0	2
5	町井 文太	14	0	2	5	17	4	5	3	4	4	1	2	0	1
6	阿保 柊二	12	2	3	2	4	2	2	1	0	3	0	1	1	0
7	多田 竜之介	5	1	5	1	6	0	0	1	2	2	1	0	0	2
8	矢口 拓歩	4	0	0	2	5	0	0	4	0	2	1	0	0	1
9	月村 凌樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	丸山 一馬	0													
11	小玉 大智	20	1	6	6	13	5	6	1	4	6	1	2	0	5
12	磯部 真希	0													
13	江川 航希	0													
14	横山 悠人	10	2	3	2	6	0	0	4	3	3	3	3	2	3
15	阿川 佳樹	0													
16	吉川耕之輔	0													
17	斎藤 颯斗	0													
18	酒井 悠汰	0													
コーチ	高瀬 俊也	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	確率	70	6	20	19	59	14	17	15	19	23	13	15	3	15
			30.0%		32.2%		82.4%			計	42				



## 戦評

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。お互い、シュートがなかなか決まらず苦しむ。最初の得点は日体大柏の速攻から#5がゴール下を決めるが、すぐさま実践学園も#11のバスケットカウントで返す。その後はお互いシュートを打ち合うも思うように決まらず、ロースコアの展開となる。

第2P、日体大柏#13のバスケットカウントや、#10がインサイドを攻め追加点を上げる。日体大柏が勢いに乗り、8点差をつけた所で実践学園がタイムアウト。実践学園はディフェンスでのプレッシャーを強め、速攻を狙いたいと思うように得点が伸びず、日体大柏が7点差のリードを保ったまま前半終了。

第3P、日体大柏が#13のスチールからのジャンプシュートで得点を伸ばす。その後も、日体大柏が#10などの得点で勢いに乗るが、残り2分頃から実践学園はゾーンプレスで勝負を仕掛け、勢いを取り戻す。

第4P、実践学園は継続してゾーンプレスからボールを奪いに行く。#6、#11の3pが連続して決まり、5点差まで追い上げた所で日体大柏がタイムアウト。その後も実践学園の勢いが勝り、#11のレイアップで同点とし、続けて#6の3pで逆転する。流れを変えたい日体大柏は#13の3pが連続して決まり、勢いを取り戻すが、実践学園はスチールからの速攻でリードを保つ。終盤、日体大柏はファウルゲームを仕掛けるが、実践学園もフリースローを確実に決め、タイムアップ。シュート確率がなかなか上がらず苦しんだ実践学園であったが、ゾーンプレスで勝機を見出し、逆転で二回戦進出を決めた。

記入者: 竹内 智史

Ref	眞榮喜 工	1st U	土屋友由	2nd U	
-----	-------	-------	------	-------	--